

# メタ認知能力を イノベーションに生かす検定試験

イノベーターは多いほど国は栄える



この行動は、私自身にとってイノベーションだと思っています。協会に先立つて私は「日本結婚カウンセリング協会」を立ち上げ、活動してきましたが、コロナ禍で少し仕事が減り、空いた時間を使って事業の拡大を模索し、100冊を超える書籍を読み、資料をもたくさん見ました。この中で欧米の経営者はメタ認知能力が

## 私自身が イノベーションを起こしました

この行動は、私自身にとってイノベーションだと思っています。協会に先立つて私は「日本結婚カウンセリング協会」を立ち上げ、活動してきましたが、コロナ禍で少し仕事が減り、空いた時間を使って事業の拡大を模索し、100冊を超える書籍を読み、資料をもたくさん見ました。この中で欧米の経営者はメタ認知能力が

高いことに着目し、メタ認知能力の高い経営者と事業の拡大の二つの点を線にする新たな事業活動のアイデアに到達したのです。

## メタ認知能力は 自分を高める力

メタ認知は、アメリカの心理学者が定義した心理学用語で、自己の知覚、情動、記憶、思考などの認知活動を客観的に捉えることを意味し、メタ認知能力とは、メタ認知に基づいて自分自身をコントロールでき、冷静な判断や行動ができる能力のことです。

「日本イノベーター能力検定協会」では、イノベーションを起こす前提として、このメタ認知能力を高めることが重要と考え、イノベーターとしての能力を判定する検定試験に先立ち、級に応じた「検定受験準備講座」を受けていただき、その後検定試験を受験していただくプログラムを立ち上げました。イノベーターの育成といってもいいプログラムです。経営能力が高い欧米の経営者のよ

## 「人は身近な問題しか関心を示さない」 傾向にある

### 日本イノベーター能力検定協会

☎ 03-6403-4213  
✉ info@j-innovator.net  
📍 東京都港区南青山2-2-15 ウィン青山1403  
<https://j-innovator.net/>

理事長 遠藤壽彦 さん  
国家公務員定年後、キャリアコンサルタントとして行刑施設の受刑者の就労支援。高校のスクールカウンセラー、家庭裁判所調停員などを経て、「日本結婚カウンセリング協会」、「日本イノベーター能力検定協会」設立。



## イノベーションを起こすために メタ認知能力持つ人材を育成

ウイルスの脅威に怯えるコロナ禍の暗雲が世界を覆い、人生も生活も経済活動も変容を強いられています。マスコミは、個人事業主や企業が大変な思いをしていることを伝える一方、中には臨機に仕事を増やしたり、業容を変えたりして新しい仕事に挑戦しているところもあります。コロナ禍がもたらした新たなうねりですが、いずれは収束するコロナ禍とは異なる構造的な問題がこの国の前途に立ちほだかっていることを忘れてはなりません。労働力人口の減少と人工知能AIの普及です。この問題を乗り越えられるか否かのカギはイノベーションにあると私は考えています。

## すでに具体的に問題が 提示されている

総務省の統計によると、2020年平均の就業者数は6676万人と、前年に比べ48万人減少しました。さらに年を追うごとに労働力不足が深刻化して30年後には生産年齢人口が1600万人近く減少することになり、企業の生産活動に大きな影響を与えると予測されています。外国人労働者の受け入れも含めて既に対応を求められています。

一方、オックスフォード大学の研究では、AI化によって、あと10年で「消える職業」なくなる仕事」といった大胆な論文が出ています。急激な変化ではないでしょうか、見過ごすことはできません。個人や企業が近い将来直面する課題と言えます。このような状況をしっかりと認識し、事業を進化させていかなければ企業は潰れてしまうでしょう。

翻って、現在の日本の経済状況を見ますと、失われた20年、30年で経済成長の勢いがすっかり衰えてし



うに自己理解を深め、自己理解を通して物事ごとの本質的を追求し、洞察力、直感力などを磨き、判断力が正確で速い能力を備えた人材の育成です。

具体的には、イノベーターを「消費者の立場に立ってイノベーションを起こす人材」と定義する同時に、イノベーターに必要な能力についてメタ認知能力をベースに六つの能力を確定しました。「物事の本質の追求能力」「メタ認知的自己理解力」「論理思考能力」「分析力」「創出力」「危機管理能力」の六つの能力です。この能力を養い、イノベーターの活動できる環境とステージを確立していくことが協会の使命と考えています。この能力を身に付けたイノベーターが増えることでイノベーションが起きる可能性は大いに高まり、企業の活性化に寄与できると考えます。更にイノベーターが増えることで、停滞しているベンチャー起業家を増やすことにもつながると確信しています。

## イノベーションとはの良きお手本

我々の間には良きお手本があります。AGFA、つまりアメリカのApple、Google、Facebook、Amazonの巨大IT企業です。私にとって、四つは自分の生活に知らぬ間に入り込んでいました。良い悪いではなく、これからの日本のイノベーションを起こす良い手本です。このような巨大企業が簡単に起こせるとは思いませんが、これらの企業の原点は、気づきやひらめき、そして工夫また大きなポイントとは組み合わせです。このような企業から学ばない手はないと思います。

## まずは自社の潜在能力を高めませんか

私は、日本の中小企業で生き残れるのは、時代の流れに適応している企業だけだと考えています。そのような企業を少しでも増やすお手伝いをしたいと活動しています。会社の潜在能力をまず生かすこと



未来を創出する。

### 事業:

- 検定試験を通したイノベーターの育成
- イノベーション活動の出来る人材育成、組織作りなどの社員研修
- チエンジリーダー、イノベーションコンサルタントの育成
- 事業拡大に伴うサポート事業所の募集



激しい変化に生き抜くために。



イノベーションをおこす。



から始めませんか。人も会社も同じです。会社にも秘められた潜在能力があります。この能力を引き出して高めることが、会社が最初に始める「価値ある変化」です。また、本格的なイノベーションを起こすための準備です。まずイノベーターな組織作り、人材の育成をすることからスタートです。考えているだけではイノベーションは起きません。また、どこから手を付けるか悩んでいるだけでは変化は起きません。もし、そのようなお悩みがありましたらぜひご相談下さい。

## 人材育成は各種学校にも対応を迫られています

時代の大きなうねりに適応していかねばいけないのは企業だけではなくありません。イノベーションを起こし続ける時代にあつては教育機関の人材教育も変化が求められています。

これからの時代に対応していくには、新しく誕生する科目に消える科目が出てきます。この峻別がさ

れない限り日本のイノベーションはますます遅れるばかりです。すでに義務教育でも「自分で考え、計画を立て、主体的に行動していく」教育に力を入れています。

私は、幼児教育から、好奇心、気づき、自己肯定感、リトミック教育(広義の教育)を大切にしたい、しかも体系的に始めて行くことでイノベーターは育つと確信しています。まずは、高等学校、短大、専門学校では「ベーター能力検定試験」の受験準備講座を科目として取り入れていただき、将来の日本を背負う人材を育てて欲しいと考えています。

級検定合格証

